

アクティブ・ラーニング実践研究における 平成28～29年度実践地域による 研究成果

アクティブ・ラーニング & カリキュラム・マネジメント サミット2018

平成30年5月9日(水)、10日(木)
群馬県教育委員会

実践地域説明

- 1 研究課題
- 2 群馬県の実践研究に係る
具体的取組(①～⑤)
- 3 研究の成果と課題

研究課題

**組織的な校内研修を充実させ、
生徒が主体的・協働的に取り組
めるアクティブ・ラーニングの
視点に立った授業を推進する。**

各校における校内研修を組織的に行い、各教科・科目で育成したい資質・能力を明確にし、その達成に向けて、アクティブ・ラーニングの視点に立った指導方法を研究・開発する。

各学校において教育目標や目指すべき生徒像を明確にし、教員及び生徒を含めた学校全体でこれらの目標等を共有しながら、育成する資質・能力を教育課程全体で捉えるよう全体構造を検討する。

具体的取組

「群馬県高校生ステップアップ サポート事業」の推進

- 生徒が主体的・協働的に取り組める**アクティブ・ラーニング**の視点に立った**授業改善**を推進。
- 各学校で**組織的な研究授業**や**授業研究等の校内研修**を実施し、**教員の指導方法の専門性を高める取組**。

高校生ステップアップサポート事業の概要

生徒に育成すべき資質・能力

| | | |
|------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| 生きて働く 「知識・技能」 | 未知の状況にも対応できる 「思考力・判断力・表現力等」 | 学びを人生や社会に生かそうとする 「学びに向かう力・人間性等」 |
|------------------|--------------------------------|------------------------------------|

↑
具体的

ステップアップサポート事業の2本柱
～授業改善研究の高度化のために～

「主体的・対話的で深い学び」
の実現に向けた
学習過程の質的改善

組織的な校内研修を通じた
教員の専門性の向上

研究成果

| 年度 | アクティブ・ラーニングの視点を持った授業を実施している教員の割合 (%) | 「群馬県高校生ステップアップサポート事業」の推進によって、どのような効果が得られているか。(複数回答可) ※ 公立高等学校の総数70校 | | | | | | |
|----|--------------------------------------|--|-----------|------------------|-------------|-------------------|------|-----|
| | | 授業に対する生徒の意識の高まり | 教員の専門性の向上 | 生徒に育成すべき資質・能力の向上 | 大学への進学実績の向上 | 授業改善に係る校内研修の充実・深化 | 特になし | その他 |
| 28 | 72.8 % | 61校 | 38校 | 44校 | 3校 | 63校 | 6校 | 16校 |
| 29 | 78.4 % | 57校 | 54校 | 44校 | 5校 | 58校 | 3校 | 11校 |

具体的方策

- ① 総合的実践研究**
(拠点校2校を研究指定校とし研究を推進する)
- ② 組織的授業改善研究**
(県内公立高等学校等における組織的な授業改善を推進する)
- ③ コーディネーター研修会開催**
(校内研修を充実させるコーディネーターの資質向上を図る)
- ④ 推進研究員の指名**
(勤務校で授業実践をしながら学習・指導方法について研究する)
- ⑤ 実践事例集の作成**
(拠点校2校及び研究推進員の授業実践を研究成果として普及する)

研究成果

| 年度 | 「群馬県高校生ステップアップサポート事業」の推進において、どのような課題や問題点がありますか。(複数回答可) ※ 公立高等学校の総数70校 | | | | | | |
|----|--|---------------------------------|---------------|------------------------|----------------------|------|-----|
| | 形式だけのペア学習・グループ学習となっている | 生徒の資質・能力を育成するに当たって、期待したほどの効果がない | 学習成果の評価が困難である | 教材研究や事前準備の面で、教員の負担が大きい | 校内設備 (ICT機器) が不足している | 特になし | その他 |
| 28 | 43校 | 21校 | 52校 | 49校 | 57校 | 7校 | 32校 |
| 29 | 36校 | 16校 | 46校 | 50校 | 55校 | 2校 | 25校 |



目次

◆実践研究の具体的内容

◆授業公開・研究協議

◆育成する資質・能力の共有

プロジェクターを使った授業



タブレットを使った授業



発表活動・話し合い活動



アクティブ・ラーニング型授業

タイマーの使用



アクティブ・ラーニング型授業

個→協働→個のサイクル



アクティブ・ラーニング型授業

授業のルール

授業のルール

- 授業の準備をし、チャイムが鳴るまでに着席する。
- 授業の最初に服装を整える。
- 授業の最初と最後には全員がしっかりと挨拶をする。
- 授業中の先生の指示や説明は、静かに聞く。
- 姿勢を正して、授業を受ける。
- ペアやグループでの活動や話し合いでは
 - 相手の方を向いて話す。
 - 相手の話を誠実な態度で聞く。
 - 関係のない話はしない。
 - 発表の時は、全員に聞こえるような大きな声で話す。

資質・能力育成のための授業改善

| 数 学 | 理 科 | 英 語 |
|--|--|--|
| グループ学習による問題演習①②⑤ まとめの小テスト⑤ 生徒による問題説明・発表、L・Oの活用③⑦ 数学検定への挑戦②⑦ | ベアやグループで問題演習を行い、お互いに教え合う。① 授業ごとに課題を設定し、振り返りの時間をつくる。② 課題についての調べ学習や探究活動、発表を行う。③ 自らやらなければならない環境づくりをする。④ 授業中の説明、予習、復習、課題等を積極的に行わせることによる自主学習、家庭学習の定着⑤ 基礎的な課題設定から成功体験を得られるようにする。教員側ができたことに対して評価する。⑦ 実験ごとに課題を設定し、それを解決できるように協力させる。⑧ | 英検 全員受検④ レッソンの要約文を英語で書く② グループワーク・ベアワークでのコミュニケーション活動①②③⑤ 英語による発表活動①⑧ 少人数学習④⑦ ALの活用③④ ポイントカードの活用④⑦ 単語テスト・音読テスト⑤ |



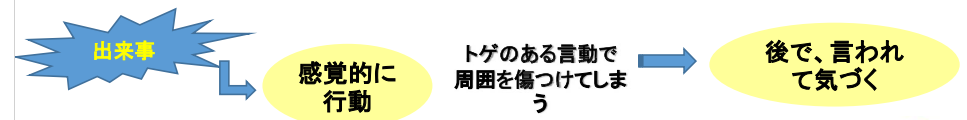
ご静聴ありがとうございました

文部科学省平成28～29年度委託事業
教科等の本質的な学びを踏まえたALの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究報告

平成30年5月
群馬県立安中総合学園高等学校

本校の生徒の実態と課題

- 寝られる授業、寝られない授業というレベルで授業をとらえている
- 学習の動機付けが極端に弱い、学ぼうとしない
- 分数の計算ができない、地図を見ても北がどちらか分からない
- 快か不快か、好きか嫌いかのレベルで物事を判断する
- 快でつながる仲間なので、不快なことがあるとつながれなくなる
- 何かに反応し行動した時、仲間からマイナスのリアクションが怖い
- 自分の居場所がない、自分を見失いそうだと言う
- 家庭環境の厳しい者が少なくはない
- 約3割が一人親家庭



本校の取り組み概要

・家庭環境の厳しさに起因する自分の将来に肯定的な意識や積極的な姿勢を持ちにくい状況の対応



**家庭科教育
ライフデザイン講座
の充実**



・授業に消極的な構えの改善
・仲間とつながり支え合う姿
・主体的に学び基礎学力の定着を目指す



**主体的・対話的で深い
協働的な学びの推進**



指定事業拠点校としての具体的な取り組み内容

家庭科と総合的な学習の時間におけるライフデザイン講座を中心に、全教科で主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から学習・指導方法の改善・研究を行い、生徒に良き社会人としての意識を醸成するとともに、思考力・判断力・表現力を育成する。



群馬県立安中総合学園高等学校

家庭科教育の充実 —ライフデザイン講座—

対象: 生活文化系列(保育系)3年生

**高校生のライフデザイン講座とは
自分の将来を主体的に描き、具体化していく講座・授業**

高校生のうち、3人に2人は「自分が何をしても物事は変わらない」と思い、生活してしまっています。これは勉強・授業や部活動はもちろん、家族や友人との関係、あるいは自分の将来にさえも、“無気力”を引き起こしています。この講座では、「自分が主体的に動き描くことで、未来は変わるかもしれない」と思い、自分の将来を具体的にイメージし、価値観・行動変容に結び付くことをゴールとしています。

大切にしていること

- 1 ナナメの関係による場づくり
- 2 関係性を高めていくこと
- 3 内なる声を形にする機会



Copyright (C) 2015 DNA All Rights Reserved.

群馬県立安中総合学園高等学校

全教科でのALの視点から学習・指導方法の改善・研究

本校の授業研究の在り方

生徒の活動を中心に授業を見る(See Think Wonder)

See ○ 何が見られましたか

- ↳ 生徒の表情・仕草を見る・発言を聴く 例: ○○くんが、このときに寝はじめた
- ↳ 生徒同士、生徒と教師の関係をつかむ 例: ○○くんの発言に、△△さんがこう反応した

Think ○ それについてどう考えましたか

- ↳ 生徒の言動の感想を語る 例: ○○くんがここで学びから逃避した理由は・・・
: ○○くんのこの発言を聴いて、私はこう感じました。

Wonder ○ そこから何が類推できますか

- ↳ 授業中の活動と自分の実践を比較し考察する
例: ○○さんの授業中の様子が、自分の授業中と違うのは・・・だからだと思う。

<授業の主役である生徒が、充実した学びをしていけるように>



群馬県立安中総合学園高等学校

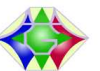
研究の成果①

(1)ライフデザイン講座

| | とてもそう思う | そう思う |
|-------------------------------|---------|------|
| 自分の考えや気持ちを相手に伝えることができるようになった。 | 70% | 30% |
| 子育てを楽しみに思えるようになった。 | 70 | 30 |
| いつか子どもがほしいと思うようになった。 | 90 | 10 |
| 自分達がどうするかによって幸せな家庭が築ける。 | 90 | 10 |
| 自分らしさについて答えることができる。 | 100 | 0 |
| 他の人の素敵などを認めることができる。 | 90 | 10 |
| 自分の弱点を出して、人の助けを借りることも必要だと思う。 | 95 | 5 |
| 自分の人生は自分次第で面白くできると思う。 | 100 | 0 |

◎ライフデザイン講座の結果より

- ・一般的な家庭生活に関する事への前向きな姿勢を持った。
- ・他者への関心と肯定感の向上が見られた。
- ・自己肯定感の向上が見られた。



群馬県立安中総合学園高等学校

研究の成果②

(2)全教科でのALの視点から学習・指導方法の改善・研究

| ◎授業アンケートの結果より | H29 | | | H28 | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 1年 | 2年 | 3年 | 1年 | 2年 | 3年 |
| わかりやすい教材を使ったり、興味深い話をしたりするなど、授業を工夫している。(座学) | 72% | 75% | 68% | 74% | 69% | 61% |
| 一斉授業だけではなく、ペア学習やグループ学習で話し合ったりする活動を行っている。(座学) | 69 | 61 | 50 | 69 | 50 | 50 |
| わかりやすい教材を使ったり、興味深い話をしたりするなど、授業を工夫している。(実習・実技) | — | 76 | 90 | — | 78 | 66 |
| 実習内容を一方的に説明し実施するだけでなく、生徒同士が実習内容について創意工夫する話し合いを行っている。(実習・実技) | — | 80 | 83 | — | 69 | 64 |
| 授業で学んだ内容を自分でもっと勉強したいと思うようになった。(実習・実技) | — | 72 | 73 | — | 58 | 64 |



群馬県立安中総合学園高等学校

研究の成果③

(2)全教科でのALの視点から学習・指導方法の改善・研究

◎授業アンケートの結果より

- ・昨年度の取り組みを経て2、3年生でもペア学習やグループ学習に取り組みやすい環境が整いつつある。
- ・教材の工夫や、話題の提供等、生徒の実態に沿った授業改善が進んでいる。
- ・実習や実技でも、生徒同士の関わり合いを意識した取り組みが進んでいる。
- ・実習や実技を通して学習内容に関して主体性がより育まれている。

◎その他

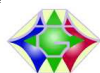
- ・成績不振科目の総数が平成28年度よりも8%減少し、平成27年度と比較すると17%減少している。学習意欲の向上と基礎学力を底上げすることができた。
- ・平成27年度よりも特別指導件数が減少した。
- ・授業検討会では回数を重ねるたびに「〇〇君が」や「〇〇さんが」と言うように発言するようになった。特に、「学年で活躍している子」よりも「気になる生徒、悩ましい生徒」が研究授業で取り組む姿に関心を寄せることが多く、学年での情報共有や共通理解等、生徒理解を深めることができた。



群馬県立安中総合学園高等学校

(参考)平成28年度の取り組み

- | | |
|---------|---|
| 1 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・4/25 職員会議にて、係より事業説明 ・5/25 職員研修 本校非常勤講師木内先生の模擬授業 ・5/31～ 管理職による授業参観 ・6/20 授業実践研究会Ⅰ 飯塚知子、飯塚礼子教諭「保育系総合研究」 ・7/4 授業実践研究会Ⅱ 荻戸教諭「数学Ⅰ」 |
| 2 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・9/26 授業実践研究会Ⅲ 学年別授業研究会・研究協議会 音楽Ⅰ(音楽)・主権者教育(社会科)・原価計算(商業) ・10/11 1学年 キャリアベーシック 未来の教室の実施 ・10/14 授業実践研究会Ⅳ 学年別授業研究会・研究協議会 家庭基礎(家庭)・科学と人間生活(理科)・機械工作(工業) ・10/18・19 先進校視察(静岡県 沼津城北高、元吉原中) ・11/24・25 先進校視察(滋賀県 草津高、彦根翔陽西館高) ・12/6 校内研修の実施(教育相談の立場から) ・12/8～ 授業アンケートの実施 ・12/19 先進校視察報告会 |
| 3 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・1/25 授業実践研究会Ⅴ 学年別授業研究会・研究協議会 国語科・福祉科・ライフデザイン講座 ・2/3・6・7 3/15・16・17 コの字型机配置週間 |



群馬県立安中総合学園高等学校

(参考)平成29年度の取り組み

- | | |
|---------|---|
| 1 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・4/7 新任者への研修会を実施 ・4/25 職員会議にて事業説明 ・5/25 職員研修 本校非常勤講師木内先生による演習 ・5/～ 管理職による授業参観 ・6/2 先進校視察(埼玉県 新座高校) ・6/15・16 先進校視察(大阪府 勝山高校、金岡中学校) ・6/20 授業実践研究会Ⅵ 学年別授業研究会・研究協議会(非公開) 数学Ⅰ・体育科・家庭科 ・7/7 先進校視察報告会Ⅲ ・7/14 授業実践研究会Ⅶ 学年別授業研究会・研究協議会・講演会(公開) 数学Ⅰ・農業科・福祉科 |
| 2 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・10月 1学年 キャリアベーシック 未来の教室の実施 ・11/6 先進校視察(筑波大学附属高) ・11/7 先進校視察(東大附属中等教育学校) ・11/29 授業実践研究会Ⅷ 学年別授業研究会・研究協議会 国語総合・農業科・商業科 ・12月 授業アンケートの実施 ・12/11～ ペア・ウィーク期間① ・12/18 先進校視察報告会Ⅳ |
| 3 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・1/15～ ペア・ウィーク期間② ・1/22 授業実践研究会Ⅷ 学年別授業研究会・研究協議会 英語・化学基礎・総合研究(ライフデザイン講座) |



群馬県立安中総合学園高等学校